



三原市長
五藤 康之

新年明けましておめでとうございます。皆様には、平素より市政推進に対し、ご支援ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、長年の念願でありました三原バイパスが全線で開通いたしました。合わせてオープンした道の駅「みはら神明の里」も多くの皆様にご利用いただいております。今後も本市の観光拠点として積極的に活用していきたいと考えております。

さて、わが国の経済は、人口減少・少子高齢化に加え、世界景気の減速などもあり、依然として厳しい状況が続いております。本市におきましても同様に厳しい状況下ではあります。本年は後期基本計画の4年目に当たる年であり、長期総合計画の最終年度となる平成26年度の本市のあるべき姿

を見据え、残った課題の解決に全力で取り組んでまいります。

特に、中心市街地活性化については喫緊の課題であり、市議会をはじめ、商工団体などと連携しながら、にぎわいを創出し、活性化につながる施策について協議を進めてまいります。

また、学校の耐震化や適正配置、防災・減災対策、公共施設の長寿命化対策など、限られた財源の中ではありますが、持続可能な財政基盤を確立し、次世代へ負担の先送りをする事のないよう、安心・安全で住み続けたいまちづくりに取り組んでまいります。皆様方には、より一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

今年1年が、市民の皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。



三原市議会議員
白須 均

新年明けましておめでとうございます。皆様方には輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、平素から議会活動に対し、温かいご指導ご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、本市は依然として税収減による厳しい財政状況の中、多くの課題を抱えております。議会としては市政を厳しくチェックするとともに、積極的に市政への提案を行い、活力ある議会として市民の皆様のご期待に応えるよう誠心誠意努力してまいり所存でございます。

また昨年4月から、議会及び議員に係る基本的事項を定めた「三原市議会基本条例」が施行されておりますが、この条例を具現化する活動がなされていないのが実状です。今後は、この条例の運用について検討する組織を立ち上げ、さらなる議会の活性化を図ることにより、皆様のご意見やご要望を

把握し、開かれた議会を実現してまいりたいと考えております。

平成17年3月の合併以来、本年4月には2期目の任期満了を迎える市議会ですが、今回の選挙から、行財政改革の一環として議員定数を現在の32人から28人にする事としております。これにより合併時と比較して9人の定数減を図っておりますが、引き続き、二元代表制の一翼を担う議会として、三原市の意思決定機関としての機能及び市政を監視・評価する機能を果たしてまいり所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

平成25年の新春にのぞみ、今後とも市民の皆様からの幅広いご理解とご協力、ご支援をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますことを心よりお祈りし、新年のごあいさついたします。